



ふじまつ



梅雨時期の健康・安全について

新年度も2ヶ月が経ち、各学年それぞれに、発達段階や集団のカラーなど、「その学年らしさ」が感じられるようになってきました。コロナ関連の制限解除から4週間ほど経過し、友達と一緒に元気に学び、元気に遊ぶ子どもたちの姿が多く見られるようになってきました。マスクを外して表情が見えるようになってきたことで、共感の輪も広がっているようです。マスクの着用については自由ですが、これから暑くなる季節、着用する場合には注意と工夫が必要です。

今年は例年よりも早めの梅雨入りとなり、すでに熱中症や大雨等の報道が流れるようになってきました。これからの時期の健康・安全への備えについて、以下のとおりお知らせとお願いをいたします。

◎熱中症への対応について

ランドセルの中で水筒のお茶がこぼれてびしょぬれになっている児童がよくいます。水筒は紐をつけて首からかける、手提げ袋に入れるなどの対応をお願いします。

1. 予防の原則

- ① 環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行う。
- ② 徐々に暑さに慣らしていく
- ③ 個人による体質・体力等の違いを考慮する
- ④ 服装を工夫する
- ⑤ 体調不良を感じたら、早めに運動を中止し、必要な措置を行う

2. 水分補給～水筒の中身は水やお茶、麦茶等（必要に応じ経口補水液等）

スポーツドリンクはスポーツ時の引用を想定しており、糖分を多く含むものも多く、日常的な飲用には注意が必要です。一律の禁止はいたしません。濃さや量などにご注意ください。

3. 帽子の着用～体育や校外学習等、屋外での活動時には、原則着用します。登下校時や休み時間にも着用を推奨しています。放課後・休日の外遊びの際にも、是非着用させてください。

4. 規則正しい生活習慣～早寝・早起き・朝ごはん・適度な運動 ⇒ 基礎体力・抵抗力を高めましょう。

5. その他～熱中症指数計を用いて危険度を判断し、必要に応じ活動制限や注意喚起を行います。

◎大雨・長雨による災害への対応について

藤松校区は山手に面しており、土砂災害警戒区域や傾斜の急な河川を有しています。山からの雨水が集まり、一気に増水する危険があり、過去に災害の事例もあります。そこで、以下のような対応を想定しています。

1. 早期警戒・早期対応～情報を集め、臨時の休校や登下校時間変更等の措置をとることがあります。
2. 最大限の避難行動～すでに災害が発生している、またはその危機が迫っている場合等には、児童を下校させず、保護者のお迎えをお願いすることも考えられます。その際には車の渋滞が予想されますが、命を守るための措置として、どうぞご理解・ご協力をお願いします。
3. 日頃の備えと避難訓練～災害発生時に予想される危険とその対応について、日頃から指導を行い、避難訓練を実施しています。地域・ご家庭でも、災害時の避難場所や連絡方法、非常持ち出し・食料等のご準備をお願いします。

この絵は、3年生の児童が描いてくれた私の絵です。係活動で先生たちの絵を描き、「これは誰でしょう？」クイズをしたそうです。思い付きがかわいいですね。クイズが終わった後、それぞれの先生に渡しに来てくれました。私のことをこんなイメージで見てくれていたのかと、本当に嬉しく思うと同時に、そんな純粋な藤松の子どもたちの気持ちを裏切ることがあってはならないと、あらためて強く感じました。その責任を日々忘れないよう、校長室の入り口に掲示しています。

